


官民連携新技術研究開発事業 新技術概要書

本概要書作成年月

平成25年1月15日

1. 新技術名	農村が有する自然エネルギー利用の最適化システムの研究開発			
2. 開発会社	NTCコンサルタンツ株式会社、財団法人 日本水土総合研究所			
3. 資料請求先	会社名	NTCコンサルタンツ株式会社		
	住所	〒160-0004 東京都新宿区四谷3-5		
	担当課	開発事業部	担当者	中坪 秀 彰
	電話	03-3357-5916	FAX	03-3357-6398
	ホームページ	http://www.ntc-c.co.jp/		
4. 工種区分	大分類		小分類	
	農村整備/環境保全/リサイクル		農村環境整備	
	農村整備/環境保全/リサイクル		環境保全	
5. 新技術の概要	<p>全国の農村集落で自給可能な再生可能エネルギー(水力発電・太陽光発電・風力発電・その他発電)の最適な組合せを簡易にかつ速やかに求めることが可能なシミュレーション・ソフト</p> <p>① 検討地区近傍の気象観測点を選択し、内蔵のデータベースから平年値の気象データを読み込む ② 検討地区の需要電力量を設定(最小入力単位は1時間まで) ③ 水力、太陽光、風力発電装置の仕様から1基当たりの発電出力諸元を設定 ④ 必要に応じ、その他の発電による発電量を設定 ⑤ 組合せを検討する各発電装置の最小及び最大設置台数を設定 ⑥ 計算結果(評価指標)の出力 ⑦ 検討地区の目的に応じた指標から最適組合せを選定</p> <p>この結果を基に精査することで、より早く対象地区の電力需給計画を策定できる</p>			
6. 適用範囲(留意点)	<p>(1)適用範囲</p> <p>1)対象地域 農村集落単位を想定</p> <p>2)発電目的 現在の100%買電状況から少しでも自給電力を確保するとともに、災害時には緊急用電力として活用する 売電目的の発電計画を想定していないが検討は可能</p> <p>3)最適化の判定 電力の年間需給量に関わる評価指標を提示することで、担当者が地域の優先度に応じて選択・決定する</p> <p>(2)動作環境 オペレーションシステム: Windws 7 表計算ソフト: Excel 2010</p>			

7. 従来技術との比較		新技術	比較する従来技術 (当初の工法・標準案)	比較の根拠
概要図			特に無し	—
工法名	発電方式の最適な組合せシミュレーション		〃	〃
経済性(直接工事費)	ユーザーへの経済的追加負担は無い		〃	〃
工程	検討作業時間が大幅に短縮される		〃	〃
品質	より精度の高い検討結果が得られる		〃	〃
安全性	該当無し		〃	〃
施工性	該当無し		〃	〃
周辺環境への影響	該当無し		〃	〃
8. 特許		申請予定無し(著作権は開発会社が保有する)		
9. 実用新案		申請予定無し(著作権は開発会社が保有する)		
10. 実績	農水省	無し		
	その他	無し		
11. 備考		<p>(1)バージョンアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー利用に伴う要望に応じ、より使い勝手の良いツールに改良していく予定 <p>(2)サポート体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールによる問い合わせに対応 ・バージョンアップ時に全ユーザーへ通知 ・カスタマイズの要請については有償 		